

日野市核兵器廃絶・平和都市宣言

40周年事業

令和4年度報告書



日野市

目次

1	宣言の成立ち	…2
2	日野市核兵器廃絶・平和都市宣言の分析	…3
3	事業概要	…5
4	令和4年度事業の取組みのまとめ	…6
	第1回 日野市核兵器廃絶・平和都市宣言 40 周年イベント 「みんなで話そう！ 平和都市宣言って遠いもの？ わたしたちとのつ ながり」	
	第2回 日野市核兵器廃絶・平和都市宣言 40 周年イベント 「みんなで話そう！ ひの平和都市宣言のこれから」	
	第3回 日野市核兵器廃絶・平和都市宣言 40 周年イベント 「ひのの戦跡を通して」	
5	その他の平和事業でのアンケートより	…9

1 宣言の成立ち

昭和54年12月、NATO(北大西洋条約機構)諸国に中距離ミサイル配備を決定したことにより、ヨーロッパやアメリカでかつてない規模の反核運動が起こった。

昭和57年、日本の国内でもかつてないほど反核運動のムーブメントが起こった。

日野市では昭和57年6月日野市議会第三回定例会において「非核都市宣言」に関する請願」が出され、採択された。

同年8月5日には広島県安芸郡府中町の呼びかけで日野市を始め、全国から9市町村の首長が参加し、初の「非核宣言シンポジウム」が開かれた。

この「非核宣言シンポジウム」で出された核兵器廃絶・平和宣言呼びかける共同声明文をベースとして、市が日野市核兵器廃絶・平和都市宣言の文案を作成

同年9月、日野市議会第三回定例会において、「日野市核兵器廃絶・平和都市宣言」が議案上程され、全会一致で可決し、昭和57年10月に施行した。



2 日野市核兵器廃絶・平和都市宣言の分析

日野市核兵器廃絶・平和都市宣言

昭和 57 年 10 月 8 日
議 決

- ① { 巨大な量の核兵器は、米ソ両国の戦略兵器制限交渉などをもつてしても、もはやその拡大を止められない事態となつている。
- ② { ひとたび核兵器が使用されることになれば、その結果は全人類とその文明の滅亡であることはいうまでもない。
- ③ { 日野市は、核兵器が地球上から姿を消す日まで、その廃絶を叫び、平和が市民生活の基本であるとの理念のもとに、ここに日野市が核兵器廃絶・平和都市であることを宣言する。



① 現状の説明

米ソ

戦略兵器制限交渉

ポイント

- ・現在はアメリカ、ロシア以外にも、イギリス、フランス、中国など核兵器を保有している国々は増えており、核の脅威は増している
- ・戦略兵器削減交渉(START)から新戦略兵器削減条約(新START)へ引き継がれており、米ソと同じように文言が古くなっている

② 核兵器の恐ろしさ

全人類とその文明の滅亡

ポイント

- ・「核の冬」の理論を先取りした宣言
核戦争が起ると地球は急速に冷えて、氷河時代よりなお寒い「核の冬」が訪れる文明は崩壊し、人類は絶滅するだろう
- ・地球規模の広い視野 (Think globally)
- ・全人類の生存を求めている

③ 平和が市民生活の基本という理念と日野市が宣言する意義

平和が市民生活の基本であるとの理念

日野市が核兵器廃絶・平和都市であることを宣言する

ポイント

- ・平和でなければ市民生活は成り立たない、市民生活の中にこそ平和がある
- ・私たちはいつまでも核兵器廃絶を訴え続ける宣言
- ・日野市として、日野市民として行動することを宣言
- ・足元を見つめる大切さと自ら行動する大切さを伝えている(Act locally)

3、事業概要

核兵器廃絶と世界の恒久平和実現のため、日野市は日本非核宣言自治体協議会設立当初から関わり、現在は同協議会の幹事市として関東ブロックの代表となっています。

また平成25年より平和首長会議に加盟し、この課題に対し、世界のリーダーと共に手を取り合い活動し続けています。

平和を願う市民の請願から出来た日野市核兵器廃絶・平和都市宣言は、令和4年10月8日で40周年を迎えました。市ではこの節目の年となる令和4年度からこの宣言を未来に継承する取組を始めました。

宣言文に込められた当時の想いを大事にしながら、今の視点であらためてこの宣言文を見つめ直し、どのように活かしていくか、一から市民と対話をしながら検討します。

日野市核兵器廃絶・平和都市宣言40周年事業 アドバイザー
竹峰誠一郎(たけみね・せいいちろう)氏 プロフィール

明星大学人文学部人間社会学科教授。

「フィールドで学ぶ グローバル化時代の平和と人権」と題したゼミを開講したり、「現代社会と平和」の授業に関わるなどしている。日本平和学会理事、第五福竜丸展示館専門委員なども務める。

広島、長崎の原爆被害、さらに世界の核被害者に目を向けた調査研究を行い、近年は、世界の核被害者の補償制度を掘り起こして比較する研究にも取り組む。核兵器禁止条約第1回締約国会議に向けては、NGO や専門家らと協働して、「核被害者に対する援助と環境修復」をどう進めるのかの提言をまとめ同会議に提出するなど、実践的な取り組みも行っている。

4、令和4年度事業の取組みのまとめ

(1)第1回 令和4年度8月20日

「みんなで話そう！ 平和都市宣言って遠いもの？ わたしたちとのつながり」

第1回目では、宣言が作成された当時の時代背景や経緯、人々の想い、自治体が宣言した意味などを考える勉強会を実施しました。

昭和 57 年は、7月にニューヨークで開催される国連軍縮会議に向けて、世界で起こっていた反核・軍縮を求める草の根運動が、日本でも広がりを見せた時代でした。

日野市でも昭和 57 年 5 月に行われた「反核・平和のための市民集会」に 500 名以上の市民が参加するなどの動きの中から、6 月議会に「非核都市宣言」に関する請願が市民から提出されました。この請願が市議会で採択され、同年 9 月に「日野市核兵器廃絶・平和都市宣言」の原文が議案上程・可決し、翌月の 10 月に施行されました。

宣言には、地球規模の視点、足元から考える大切さ、そして考えるだけでなく、日野市として、市民として行動することの大切さがうたわれており、40年経った今でも平和が市民生活の基本であるという理念は色あせていないことを市民の皆さんと一緒に共有出来ました。

明星大学竹峰教授による宣言文の分析では、日野市の宣言は当時とても先駆的で、地球規模で物事を考える大切さ、足元を見つめる大切さ、そして、自ら行動する大切さが込められた素晴らしい宣言であると評価を頂き、参加者からは誇りに思うといった声がある一方、宣言の文面にある「米ソ」や「戦略兵器制限交渉」の表現は、今の時代にそぐわないところもあり、文言の一部を見直したほうが良いのではという意見がありました。



(2)第2回 令和4年10月16日

「みんなで話そう！ ひの平和都市宣言のこれから」

第2回目では、第1回目の勉強会の概要を共有し、さらに理解を深めるため参加者同士の意見交換を実施しました。

宣言についての率直な感想、未来への想い、今の宣言をどう思うか、そして今後宣言を活かすためにはどのようにすれば良いか等をグループに分かれて話し合いました。

グループワークと発表を通じ、宣言の認知度の低さや、ジェンダーなどSDGsの新しい視点を入れるべきだとする意見があったほか、平和への関心自体を高める取組が必要であるなど課題も見えてきました。

また、平和の関心を高める施策として10月8日を平和都市宣言の記念日を作ることや、各世代で平和を学ぶ機会やイベントを作ってはどうか等、様々な提案がありました。



(3)第3回 令和5年1月15日
「ひのの戦跡を通して」

第3回では、日野の戦争の記憶に光をあてました。日野市教育部の学芸員が日野の戦跡、地域の記憶を掘り起こすとともに、戦争体験者4名にお話を伺いました。

明星大学生の5人が、4グループに分かれ、座談会形式のインタビュアーとなり、戦争体験者が過酷な戦時中をどのように生き抜いたのかなど、未来の世代へ向けた平和への想いを共有しました。

全体での発表では、戦争を二度と起こしてはならないこと、今の日常がいかに平和で尊いことを確認するとともに、次の世代へ繋げていくとこの大切さを確認しました。



4、その他の平和事業でのアンケートより

平和と人権課では一年を通して色々な角度から平和事業を行っています。平和派遣事業、平和展、小学校での平和講話会など、アンケートや直に「あなたにとっての平和とは何か」を聞いており、皆さんの平和への想いを集めました。

ご意見の中から見えてきたのは、現代の「平和」という言葉の幅広さです。子どもたちはもちろん、大人たちも、平和という言葉に核や戦争の有無だけではなく、広い視点でとらえていることが表れています。

実際、意見交換やグループワークの中でも、「核以外にも平和の視点を追加する必要があるのではないか」、「平和とジェンダー、平和と多様性など、平和単体だけではない事業を行っていく必要があるのでは」というご意見がありました。

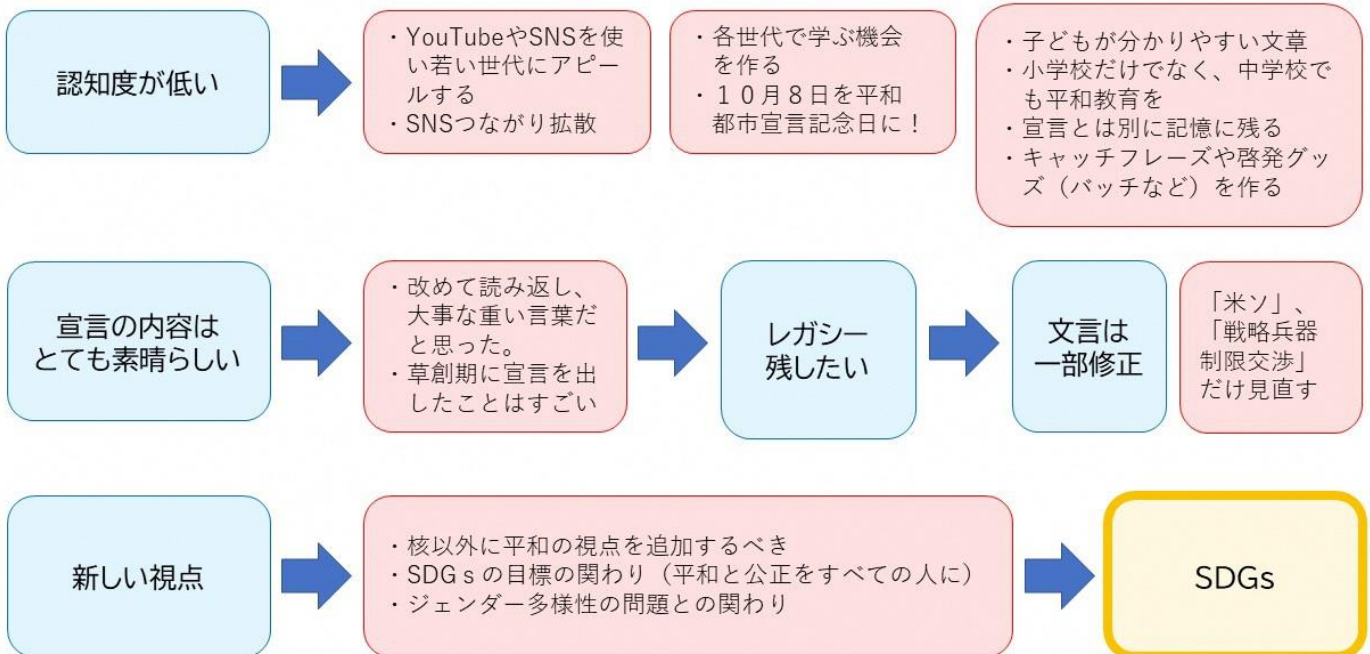
事業を通じ、市民の皆様が平和、そして核兵器廃絶・平和都市宣言について考える事ができたのは一番の成果だと考えます。

今後も「平和が市民生活の基本」の理念を発展させていくため、そして日野市の「核兵器廃絶・平和都市宣言」を今の時代、また未来にも生きる形で受け継いでいくために、いただいたご意見を踏まえながら令和5年度では更に深く掘り下げて考えてまいります。

■令和4年度市民の皆様から頂いたご意見

実施日・期間	事業名	参加人数	アンケート数
令和4年8月20日	日野市核兵器廃絶・平和都市宣言40周年イベント「みんなで話そう！平和都市宣言って遠いもの？わたしたちとのつながり」	16人	13
令和4年10月16日	日野市核兵器廃絶・平和都市宣言40周年イベント「みんなで話そう！ひの平和都市宣言のこれから」	19人	12
令和5年1月15日	日野市核兵器廃絶・平和都市宣言40周年イベント「ひの戦跡を通して」	30人	18
令和4年4月～ 令和5年3月	学校平和講話会	3,187人	3,187
令和4年 8月4日～21日	夏の平和展	-集計なし	77
令和4年11月14日 (同日実施)	平和派遣事業報告会・ 広島伝承者による平和講話会	70人	68

頂いたご意見から見えて来たこと。



子どもたちの意見①（市立小学校の5，6年生 3187名の意見から抜粋）

学校平和講話会（令和4年度全小学校に実施）にて実施

原文、誤字・脱字の修正は行っていません。

問.あなたにとって、平和とはどんなことですか？

- ・ お母さんや、お父さんといぬとおねえちゃんと、いっしょにいることです。
- ・ ごはんが食べられて、家ぞくといっしょにいられて、旅行に行けて、みんな、あらそいのない地球。
- ・ 争いがなく、相手と自分がわかり合ったり、認め合ったりすること。
だれもが安心して暮らしていくことができること。お互いを思いやって生活すること。
- ・ おなかいっぱいごはんがたべられる
十分なちりょうをうけられる
- ・ みんなが笑顔でみんなが幸せ！！でも無理した笑顔は×
- ・ 戦争のないよのなか。
- ・ あったかいごはんを食べれること。
- ・ ケンカなく、みんな仲よくすること。
びょうどうに、一人一人が努力して、協力すること。
戦そう・殺人・ごうとう・ゆうかい・とかがない世界。
- ・ いじめや、けんかがなくなり、つらいと思う人がいなくて、ごはんがしっかりたべれて、SDGsが全て叶えられると平和にできると思います。
- ・ だれもきずつかないことだと思う。今の日本は、他の国と比べると平和な国だと、常日ごろから、よく感じるけれどそれはあたりまえのことではないと思う。
- ・ この話を聞いて、平和とは、生きていられることだと思いました。戦争になったら、生きることが難しくなるということだから、キズついても生きていければ平和になれると思います。
- ・ 戦争がない世界で、いまあるSDGsの目標がすべてたっせいされている世界が平和
- ・ 人々の中で争い事がなくて、戦争なんかも、起きない。みんなが安心できる。クラスの中で、大きなケンカも笑い話しですませられる。みんなの仲がよくて、いじめがない
- ・ 安心に生活できること。おいしいものが食べられること。朝ドラがつうじょうどおりには
- ・ 「戦争」とか、そんな大きなきぼのことは私じゃ何もできないけど、クラスや家族、友達とかのきぼだったら、自分がされていやなことはしないし、「自分が悪かった」と思ったらちゃんとあやまる。
- ・ かげきなひはんはせずに支え合って、ぼう力などもなくし、ちゃんと人とのはなし合いをする。
- ・ 私はそのために、SDGsなどに協力して、けんかなどがおきないようにする。
- ・ SDGsなどのいろいろな社会問題について知ること。それにできるはん囲で協力すること。

- ・ 平和とは、人々が安全、安心でくらせて人々が楽しいと思えることが平和だと思います。だれもかなしめない平和。
- ・ 家族みんなが平凡にくらせて国同士が争そわない事。
- ・ みんな平等で無差別な傷つきがなく、人らしく生きれる世界で、平和を手に入れることに「裏」があってはいけない。
- ・ SDGs達成を目指す。そしてかく兵器を使わないということを目指す。人が明るい毎日を作る。
- ・ いつもどうりの日常をおくれることが平和だと思う。
- ・ どんなにがんばっても多人数いれば人と人のしょうとつは防げない。だから、人をすぐにもゆるせる心が必要。そのためにもまずは、自分から人のしょうとつをふせげるような人間になりたい
- ・ たのしいとおもえる時かん。ごはんなどたべたりできるじかん。いつものせいかつができるじかん。
- ・ SDGsがたっせいできて、かく兵器やミサイル、戦争がなく、だれもが権りをもつ。
- ・ 戦争のないこと
きれいな空（青空）が見えること
- ・ 大切な人たちと、ご飯を食べて、いっぱい遊んで、くだらないことを話して、みんなでふとんにくるまりねむること。（二人でボールを使って遊んでいる、ふとんにくるまって寝ている、二人でご飯を食べている絵が描かれています。）
- ・ ペットと遊んでいる時
- ・ 衣食住とすいみん
- ・ せんとうき・ぶきがないミサイルもないせかい
- ・ おなかいっぱいごはんがたべられる
十分なちりょうをうけられる
- ・ ゲーム ごはん 友達や家族の3つがそろってれば、平和
- ・ ひかくげんそくをてっていして、悪口やいじめを行さないようにすること。
- ・ みんながしあわせに公平に生きれること。
- ・ 殺し合いのない世界
- ・ 戦争は二度とおこしてはいけないと色々な人と話しあったりしてたくさん戦争のことにたいして色々なことを考えてそれをどうすれば上手く活用できるのか考えたいです。また平和のために全員が楽しくすごせるようにしたいです。
- ・ お米を食べれること ・安心してねむることができる ・どなり声がきこえないところで過ごすこと
- ・ 毎日あたりまえのように朝をむかえて毎日べんきょうができる

子どもたちの意見②（市立小学校の5、6年生 3187名の意見から抜粋）

学校平和講話会（令和4年度全小学校に実施）にて実施

原文、誤字・脱字の修正は行っておりません。

問.平和のために、あなたができること（やろうと思うこと）は何ですか？

（注：原文ママ 誤字・脱字の修正は行っておりません。）

- ・金をぬすまない。どろぼうがいたらけいさつにれんらくする。ごみを道にすてない。
- ・かみさまにねがう。
- ・人を理解する。思いやりをもつ。それがふつうに住らすの第一歩だと思う。人を思いやるだけで争い事はなくなるし、それがふつうの住らしに出来る事。
- ・まず「いじめ」をしない、まず周りの人に対して、その人が「生きるのがつらいな。」「学校に行きたくないな」って思うようなことは、しないことから始めていきたい。
- ・差別をしないこと ケンカをしないこと SDGsの対さくをコツコツすること
- ・いじめをしている人がいたらとめてあげたり、だれかをさべつしないこと。
- ・金をぬすまない。どろぼうがいたらけいさつにれんらくする。ごみを道にすてない。
- ・しょうらいそう言う人間になんない。ゴミはちゃんとゴミばこに入れる。
- ・学校のユニセフぼ金になるべく参加し、とじょう国（や、ウクライナ）が輸出しているものがあつたら、それを買う。
- ・しきりのないもの。戦争なんて「国境」があるから国がなりたつのでなわばりあらそいをするのだと思う。山極さんというゴリラの研究をしている人は、内むきのきょう感が原因といていた。ぼくもそう思う。ある1つのグループできょう感は、しきりをつくることになると思う。
- ・二度も、こんな、ことが、おきないように、ばくだんを日本に打とうとしている人に、分かってもらいたい
一発で、こんなにも人が死んでいるということ
- ・金持ちになって、ユニセフぼきん！
- ・小さい子などに戦争の怖さを伝えて、どんなひ害が及ぶかなどを知ってもらえば、話をした小さい子が戦争をくり返すことはないと思った。
- ・ぼ金をする。（戦争が起こっている国に）
- ・人々が楽しくすごせるために、いやに気持ちになる「いじめ」をできるだけなくせるようにしたい。友達とたくさん話す。そうすると自然に笑顔になる。
- ・戦争のことをしっかり知り、せんきょにいくこと。1人1人の命をたいせつにすること。みんなが、とても大事な人がいることを知っておくこと。
- ・困っている人を助ける。学校とかで外国の人とも仲良くなる。
- ・人を理解する。思いやりをもつ。それがふつうに住らすの第一歩だと思う。人を思いやるだけで争い事はなくなるし、それがふつうの住らしに出来る事。

- ・今日の講話のことを家族に伝える。忘れないようにする。
- ・きふなどをして、政治に不満を持つ人を減せること。
- ・ぼ金活動・ひなんした人の手伝いなど。
- ・だれかがいじめみたいなことをやってたらやめて！と声をかける。
- ・自分のごみは自分をもってかえるなど。みんながくらしやすいような日本にする。
- ・聞いたことを、まだ、戦争というこわいことを知らない人に、伝えて、戦争を忘れないように、受け継いで、もらったり、今、戦争している国も、あると思うので、支援や葛金（ぼきん）などをしていきたいなと思いました。
- ・ぼう力をふるうのは少なせんそうだ。でぼう力についても自分の中でもみなおしたい。なにをしても、今は、平和にすごしたい。
- ・ウクライナの人たちに、治料費をわたす。（ぼ金だと、戦車を買うお金などになってしまうため✕）
- ・ぼうりょくをふるわない。心がいたんだりしている人をなぐさめる。ずっとずっと8月6日に原ばくがおとされたことを忘れない。
- ・困っている人を助ける。→1人が困っていて他の人はびょうどうではなくみんなびょうどうに生きるために助ける。そうするとみんなびょうどうになる。
- ・SNSを通じて、世界で唯一の原爆投下を受けた国、日本として平和の大切さ、平和ということの意味を世界に発信していくこと。
- ・日ごろからSDGsをたっせいするために努力をする。
- ・戦争のことについて知識を広げ自分が大人になったときに自分の子どもに伝えられるようにする。
- ・常に自分が笑顔！そしたら周りも自然と笑顔になるからです。（熊の絵が書かれています）
- ・動物や人を大切にす。ごはんの食べのこしをしない
- ・小さなことでも「これって相手が悲しむかも。」、「これって相手を差別してるのかも。」などのあたりまえだけれど絶対にしてはいけないことをしないようにすることで
- ・せんそうはんたい！！ツイッターなどで言う
- ・世界が平和になるために、自分が直接的に何かをすることはできないかもしれないけれど、戦争で苦しんでいる人のための募金活動などに参加したりして、少しでも理解を深めることが大切だと思います。また、今戦争をしている国へのかんしんをつづけていくことも大切だと思います。一人一人が平和へのいしきをもつことが世界平和への第一歩だと思います。
- ・さべつやいじめをおこなわない。食事を残さずたべ、地球にやさしいことをする。ということをやりたいです!!
- ・SNSを通じて、世界で唯一の原爆投下を受けた国、日本として平和の大切さ、平和ということの意味を世界に発信していくこと。

